

# 書店と図書館がつなぐ未来の読者

## ～長野県の書店のいま～

令和8年1月23日

**長野県書店商業組合**

**書店再生委員会 委員長**

**(株) 笠原書店 代表取締役 笠原新太郎**

# 長野県書店商業組合とは

## ■ 日本書店商業組合連合会の一員

1945年に創立された45都道府県書店商業組合からなる国内唯一の新刊書店の全国連合会。書店業界を発展させるための活動を行っている。長野県書店商業組合も加盟。

### 【主な事業】

「全国書店新聞」(月2回刊)の発行  
読書推進に関する行事の主催・後援・協力  
小売書店の実態調査並びに研究等

### 【最近の活動】

全国の自治体への定価購入依頼文等の発信  
読書推進イベント「BOOK MEETS NEXT」「本の日」の開催  
春、秋の「読者還元祭ー書店くじ」の開催など

## ■ 現在の長野県書店商業組合

2025年11月現在 53社加盟 (2015年は78社、2010年は100社、1995年は170社)

# 株式会社 笠原書店

## ■ 会社概要

岡谷市で1925年に創業  
従業員数40名、店舗2、外商営業所2

## ■ 店売部



【岡谷本店】

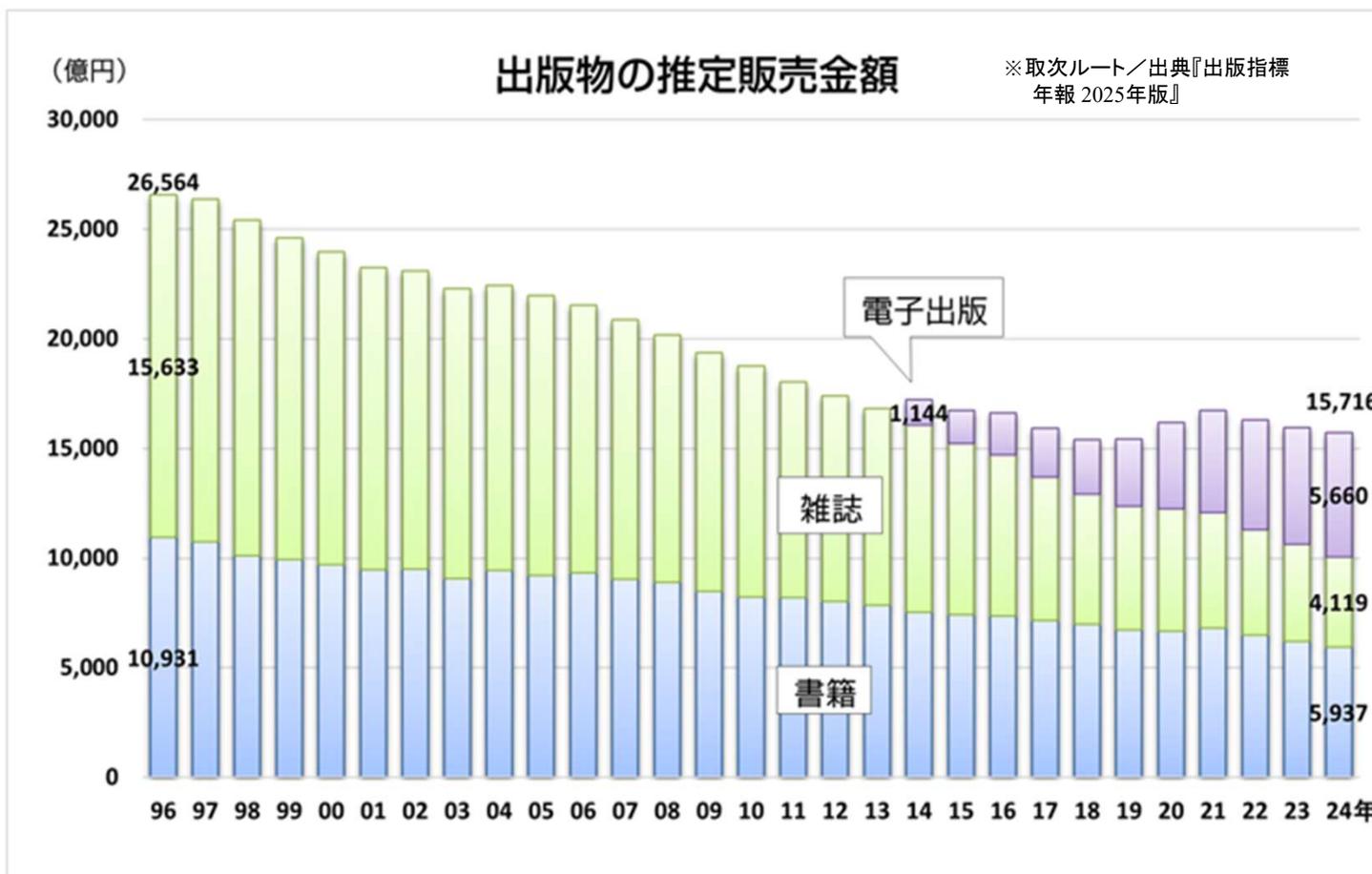


【レイクウオーク岡谷店】

## ■ 外商部

諏訪地区、上伊那地区、塩尻、松本地区の公共図書館様、学校様など

# 出版物市場全体の状況



出版業界の売り上げはピークとなった1996年までは上り坂一辺倒で来た。だが、1997年に初の前年割れとなり、以降、下降の一途をたどることとなった。

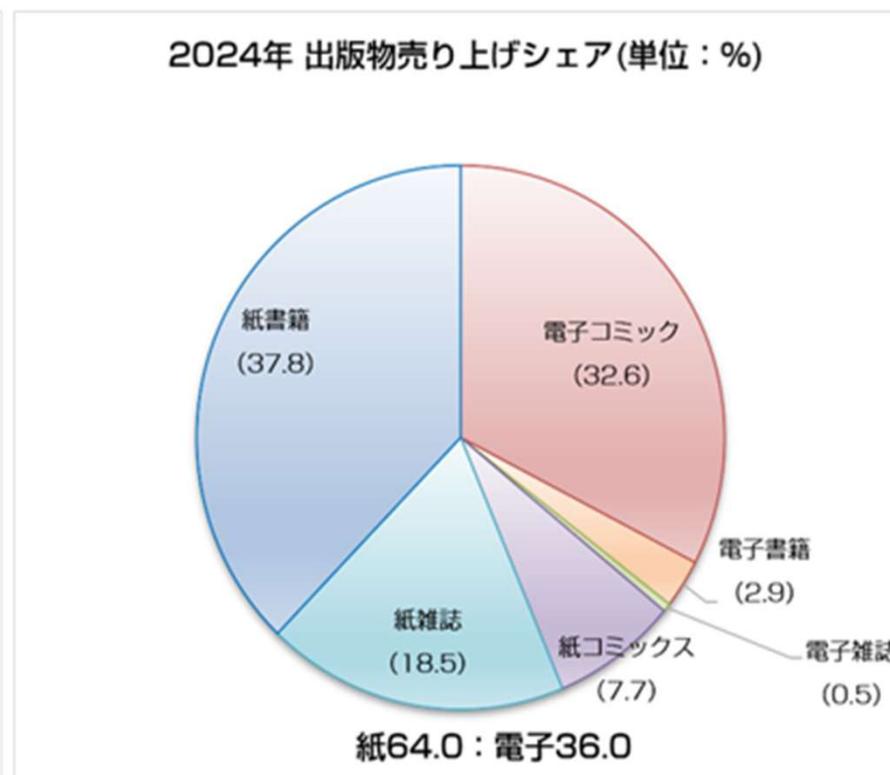
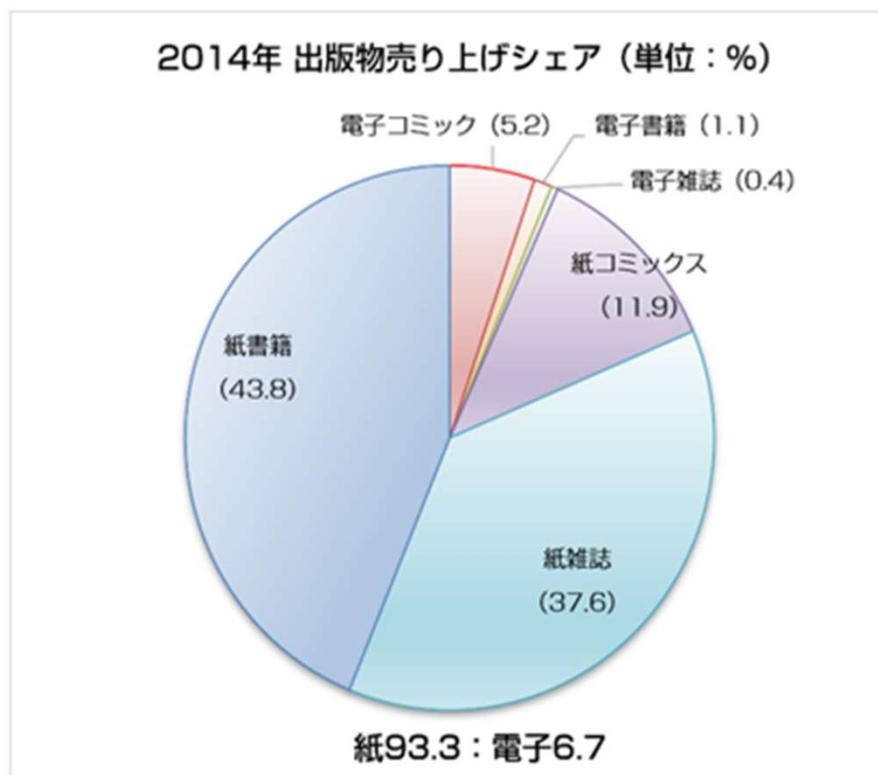
特に雑誌市場は、少子高齢化に加え、インターネット、スマートフォン（2010年代～）の普及などから、需要が激減。その代わりに電子出版が増加してきた。

2016年には書籍と雑誌の売り上げが逆転、雑高書低が終わりを告げた。

書籍市場は雑誌に比べればまだ健闘していると言えるが、厳しい状況に変わりはない。

ただし、今年の年末年始の店頭が全国的に堅調であったことは、よい兆しと考えたい！

# 出版物の売上シェア推移 2014-2024



2014-2024 (9年間) で市場は大きく変化した。なかでも電子コミックの成長が著しい。

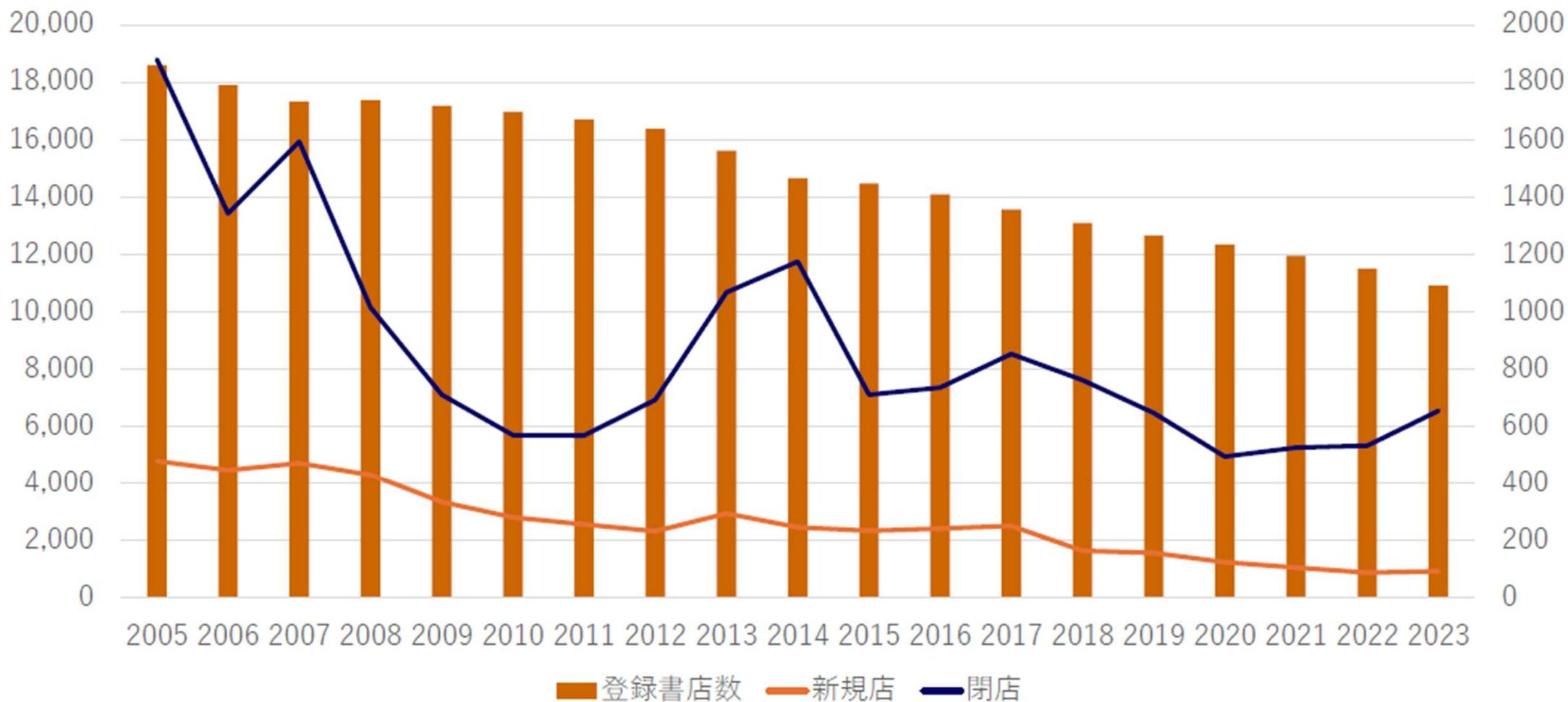
電子市場におけるコミックのシェアは年々増しており、今や9割を超えている。

紙 + 電子のコミック市場で見ると、2019年以降新型コロナウイルス感染拡大に伴う巣ごもり需要によって映像化作品が大ヒット。

22年は巣ごもり需要が終息してきたものの5年連続でプラス成長となった。

いまや出版市場全体におけるコミック (紙 + 電子) のシェアは4割を超え、依然として拡大傾向にある。

# 書店の現況 全国の書店数推移



日本出版インフラセンター 作成資料より

# 書店の現況 長野県の書店数推移 (近県比較)

## 共有書店マスタ 都道府県別書店店舗数登録一覧表

作成日:2025.12.17

CD	県名	最新		前年同月		過去12ヵ月 2025.01~2025.12		十年前との比較			
		登録数	占有率	登録数	登録数の増減	新規店	閉店	登録数	占有率	登録数の増減	増減率
		25.12.16		24.12.17				15.12.15			
15	新潟県	204	2.01%	219	-15	1	15	312	2.13%	-108	65.4%
16	富山県	100	0.99%	104	-4	1	5	138	0.94%	-38	72.5%
17	石川県	117	1.15%	120	-3	2	4	182	1.24%	-65	64.3%
18	福井県	78	0.77%	80	-2	1	3	108	0.74%	-30	72.2%
19	山梨県	88	0.87%	89	-1	2	4	117	0.80%	-29	75.2%
20	長野県	192	1.89%	196	-4	3	7	251	1.72%	-59	76.5%
21	岐阜県	211	2.08%	215	-4	1	6	276	1.89%	-65	76.4%
22	静岡県	303	2.99%	316	-13	2	12	439	3.00%	-136	69.0%
23	愛知県	608	6.00%	629	-21	5	23	869	5.94%	-261	70.0%
	中部	1,901	18.76%	1,968	-67	18	79	2,692	18.41%	-791	70.6%
	合計	10,132	100.00%	10,568	-436	91	511	14,623	100.00%	-4,491	69.3%

日本出版インフラセンター 作成資料より

# 書店の現況 長野県の書店数推移

## ▼全国書店書店総店舗数

### 全国書店総店舗数推移

	2006年度	2016年度	2025年度
総店舗数	17,911	14,100	10,132
2004年比		-3,811	-7,779

## ▼長野県書店数

### 長野県書店数

	2025年度	対前年増減
書店数	192	-4

日本出版インフラセンター 資料より

## ▼無書店自治体調査(長野県)

-	2022/09/01			
書店数	167			
-	無書店自治体	無書店率	1書店自治体	1書店以下率
市	0	0.0%	2	10.5%
町	12	52.2%	7	100.0%
村	28	80.0%	6	97.1%
合計	40	51.9%	15	71.4%

2025/08/01			
150			
無書店自治体	無書店率	1書店自治体	1書店以下率
0	0.0%	2	10.5%
14	60.9%	5	100.0%
28	80.0%	6	97.1%
42	54.5%	13	71.4%

出版文化産業振興財団 資料より

# 長野県の書店と図書館の状況

書店及び市町村図書館数(長野県内市町村)

2025年8月現在

市町村数	書店数	150				図書館数	118		書店・図書館共に無い自治体		
-	-	無書店自治体	無書店率	1書店自治体	1書店以下率	-	図書館無自治体	図書館無率	-	自治体数	自治体率
19	市	0	0.0%	2	10.5%	市	0	0.0%	市	0	0.0%
23	町	14	60.9%	5	100.0%	町	6	26.1%	町	5	21.7%
35	村	28	80.0%	6	97.1%	村	14	40.0%	村	13	37.1%
77	合計	42	54.5%	13	71.4%	合計	20	26.0%	合計	18	23.4%

\* 出版文化産業振興財団 資料より (売り場のある店舗を対象としているため、インフラセンターと書店数が異なる)

# 長野県の書店の今

・県内資本の書店の多くは・・・

社歴は長いも、零細規模、経営者高齢化、  
デジタル・DX化は進まず、  
後継者不在も少なくない

店舗販売は、主力だった雑誌、コミックが売れなくなり  
チェーン店(ローカル、ナショナル系)に  
ほぼ席捲されている

教科書納入など外商の依存度が高いが・・・

# 極めて低い一般書店の収益性

- ◆ 売上を100とすると、一般的な書店の取り分(粗利)は約22  
(教科書から得られる利益は、その半分以下)

## 〈1冊1,000円の本を外商扱いで配達した場合〉

- ◇ 書店の取り分(粗利)は約220円、そのうち約半分は人件費となり  
残りの110円で、配達・経理事務コストなども賄わなければならない
  - ◇ 5%値引きして配達すると…  
60円で、経費を賄わなければならない(1,000冊納品しても人件費には6万円しか回せない)
  - ◇ 図書装備にかかる経費(1冊あたり)  
フィルム代約50円+工賃約200円÷250円
- 1,000円の本を装備費全額サービスして納品すると……

$$110円 - 250円 = 140円以上の赤字$$

# なぜ長野県の書店は書店業を続けているのか

あるのは志し・・・

地域文化のインフラとして・・・

本とのタッチポイントととして・・・

教科書の完全供給をするために・・・

学校図書館等への図書納入の支えとして・・・

公共図書館との直接取引拡大を目指し・・・

# 2018年「諏訪モデル」の提案 ~地元でできることは地元

## ■ 資料発注について

書籍資料を地元書店に直接発注を

## ■ 装備について

フル装備（背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与）にて納品  
ブッカー処理は福祉施設委託も

## ■ 選書について

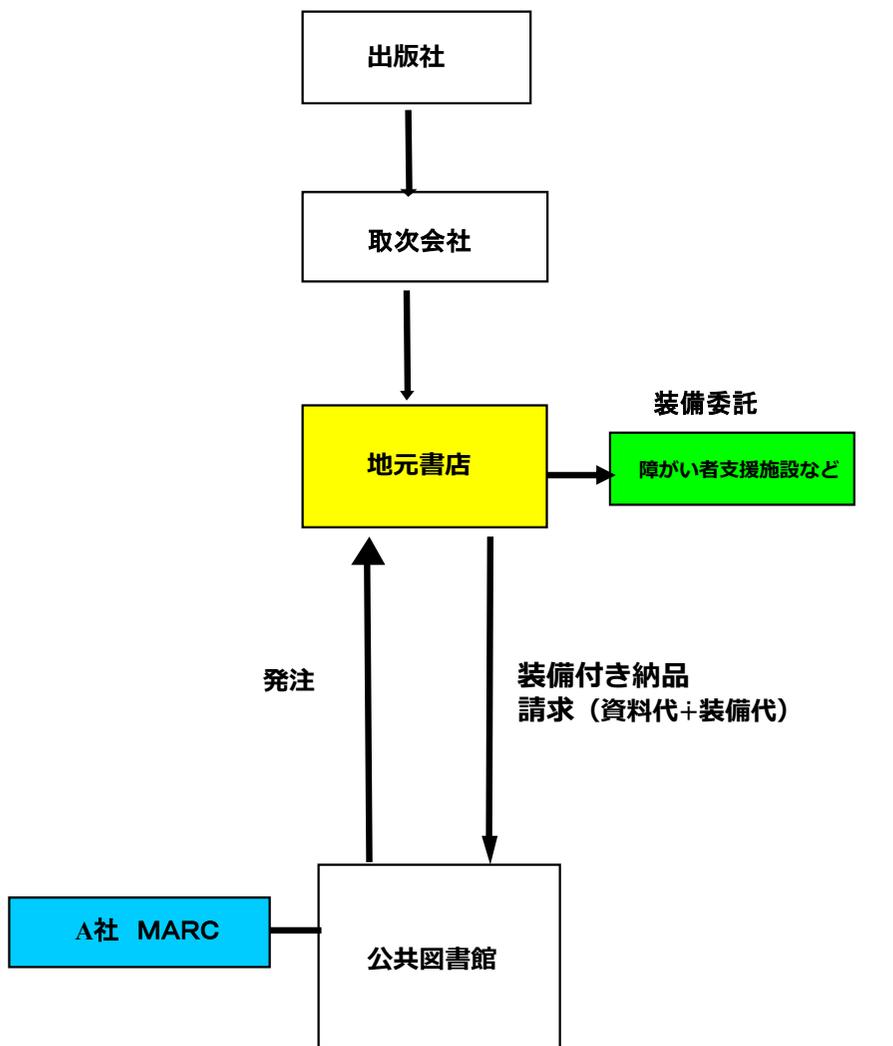
多種多様な選書方法の提案（新刊予約、実物見計らい、大型展示会など）

## ■ MARCについて

1社択一から、ローコストなMARC提案

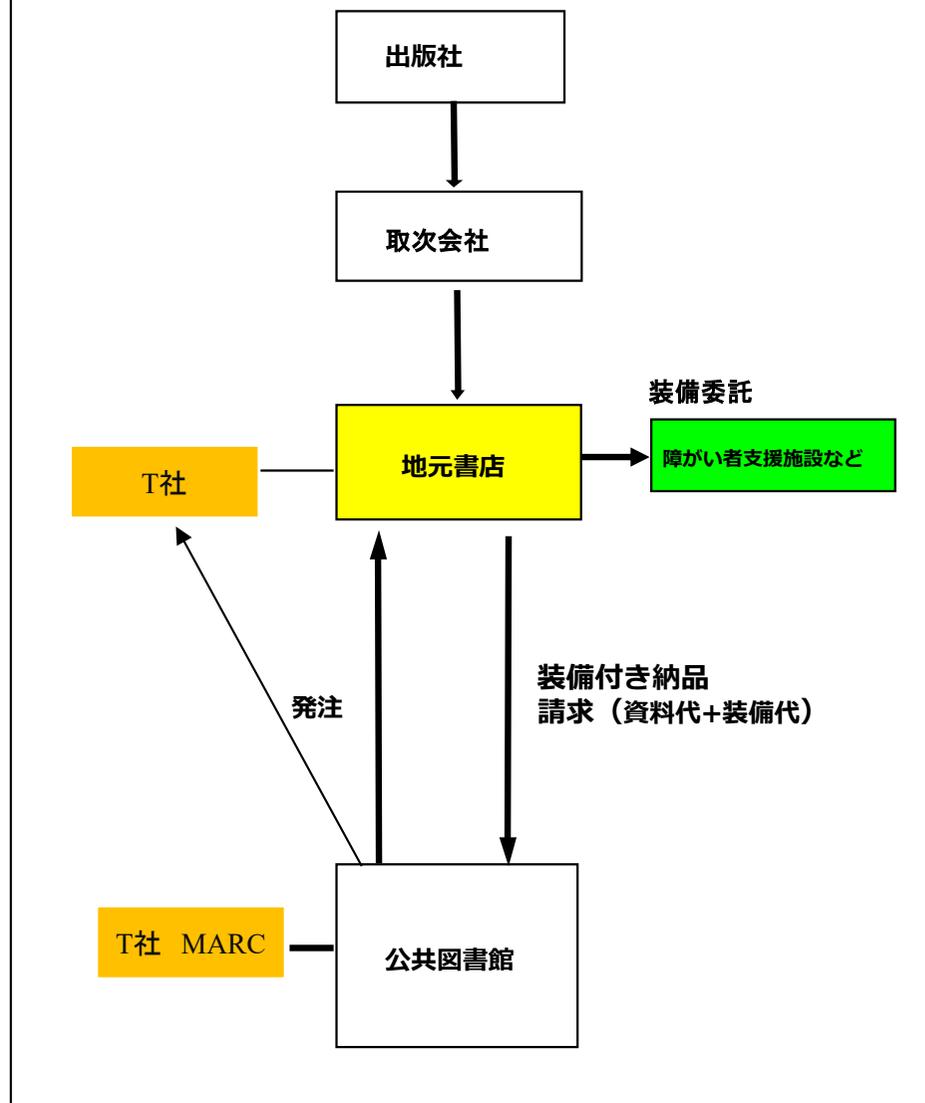
# 地元書店からの直接資料納入「諏訪モデル」

パターン1



OR

パターン2 (従来物流・MARCを残すパターン・現状)



# 「諏訪モデル」の今 ～地元書店でもできる

## ■ 岡谷市での実績

笠原書店は、予算のほぼ全ての書籍をフル装備(背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与)し、受注翌週に約80%納品  
ブッカー処理は約70%を福祉施設に委託

## ■ 下諏訪町での実績

笠原書店は、予算のほぼ半数の書籍をフル装備(背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与)し、受注翌週に90%以上納品

## ■ 諏訪市での実績

せいらん堂は、児童書の一部を直接受注。ブッカー処理を福祉施設に委託

## ■ 茅野市での実績

納入組合(2書店)は、予算のほぼ全ての児童書をフル装備(背ラベル、バーコード貼付、ブッカー処理、ローカルデータ付与)にて納品

## ■ 選書について

諏訪郡市書店組合主催により、毎年春季に大規模児童書展示会を開催  
茅野市は、児童書の実物見計らい選書の実施

(※MARCは6市町村でTRC様製MARCを共有継続使用中)

# 「諏訪モデル」の今 ～地元書店だからできる



【保護フィルム掛け作業を、笠原書店と  
せいりん堂は就労継続支援B型作業所に委託】



【毎年5月に開催する児童書大展示会（岡谷市テクノプラザ）】

# 「諏訪モデル」による地元還元効果

～地元書店だからできる

## ■ 資料直接納入により（笠原書店の例）

岡谷・下諏訪図書館の年間資料購入額＝約1,000万円  
その内の約10%を、地元住民に給与として支給  
その結果、直接納入（2020年）から5年経過し、  
総額約500万円が地元住民に還元  
装備工賃は年間約20万円、5年間で約100万円還元

## ■ ブッカー処理を福祉施設に委託することにより

岡谷市の就労継続支援B型事業所では、  
5年間で延べ500人が装備作業に従事

## ■ 多種の選書方法を利用することにより

実物選書で、より確実な予算消化にも

# 長野県の書店と公共図書館がともにできること

目指すものは同じ・・・

地域文化のインフラとして・・・

数少ない本とのタッチポイントとして・・・

読者の育成を、読書の楽しさを

・・・ともに伝える

# 県内書店と公共図書館との連携事例

共にできることがきっとある、もっとある……

- ・図書館主催イベントでの、書籍出張販売
  - ・書店主催イベントの館内告知、関連本の展示貸し出し促進
  - ・書店おすすめ本の紹介、館内告知
  - ・図書館司書おすすめ本のフェア
  - ・スタンプラリーによる相互送客
- 
- ・貸出図書の返却窓口を書店に設置(検討中)

# 書店と公共図書館との新たな連携が生まれつつある

図書館と書店がコラボすると読書はもっと楽しくなる

BOOKs  
コラボ  
おがや



スタンプを4つ  
集めた方に先着で記念品

武井武雄作品の葉

「人魚シリーズ」8種類より1つ  
をプレゼント!

ラリー期間：10月11日(月)～11月30日(日)

プレゼント交換場所：笠原書店岡谷本店

※景品の交換は12月15日(月)まで

※図書館では貸出し利用者5冊以上1回で1個、

笠原書店2店舗いずれかに1,000円以上の

お買い物時にレジにて1個押印いたします。

ご参加により図書館利用者であることがわかってしまいますが予めご了承下さい。

笠原書店創業 100 周年  
記念講演会 *書店連携企画展示*

入口右手に関連本の  
展示コーナーがあります

信州大学医学部卒業。  
長野県内で地域医療に  
従事されました。  
岡谷図書館に收藏

神様のカルテ  
神様のカルテ2、3

神様のカルテ0  
新章 神様のカルテ

本を守ろう  
とする猫の話

臨床の砦

スピノザの診察室

読書のすすめ  
自著の執筆談

夏川 草介氏 プロフィール  
1978年大原町生まれ。信州大学医学部卒。  
長野県にて地域医療に従事。  
2009年「神様のカルテ」で第十回小学館  
文庫小読賞を受賞しデビュー。同作は2010年  
本屋大賞第二位となり三度映像化された。  
他の著作に「神様のカルテ2」「神様のカルテ3」  
「神様のカルテ0」「新章 神様のカルテ」  
「始まらぬ木」「スピノザの診察室」「臨床の砦」  
「命の砦」「本を守ろうとする猫の話」  
「猫を守ろうとする猫の話」などがある。

満員御礼  
予約受付  
終了しました

ご予約・お問い合わせ先 笠原書店岡谷本店 0260-23-0010

# 2018年「諏訪モデル」が提案したこと

## ■地元書店だからこそその貢献が、かならずある

地元根を張る書店として、未来の読者としての子どもたちへの積極的なアプローチや、出版社・著者への橋渡し、学校図書館様との連携、公共図書館様との横断的なブックフェアの実施など、読書離れへの共闘、読書推進活動を共同展開していきます。

微力ながら、是非とも私たち地元書店に、  
知の拠点づくりに参加させて下さい！

# 日本書店商業連合会から全国の自治体へ発信①

日本書店商業組合連合会

会長 矢幡 秀治

官公庁、自治体、公共・学校図書館の図書調達に関するお願い

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は地域の商業振興及び中小企業支援にご尽力を賜り厚く御礼を申し上げます。私どもは、全国の書店で組織する事業者団体であり、出版物による活字文化の普及と読書推進を通じて、長年にわたり国民の知力向上に取り組んでおります。

ご高承の通り、新刊の書籍、雑誌は独占禁止法の適用除外として「定価」での販売が認められています。これにより同一出版物は全国どこの地域、どの書店で購入しても同一価格で入手可能であり、活字文化にアクセスする際の地域間格差の解消に長年寄与してきました。国民が知の文化を平等に享受できるのも、出版社と販売会社、販売会社と書店それぞれが「再販売価格維持契約書（以下、再販契約書）」を締結し、定価販売を遵守しているからです。

さて、書店が官公庁、自治体、公共・学校図書館に書籍、雑誌を納入する場合、入札により割引をした上で納品するケースが殆んどです。しかし、書店の平均的な粗利益率は22%と小売業では最低ランクにあり、割引は少ない利益を更に削ることになるため書店経営を圧迫し続けてきました。加えて紙の書籍、雑誌の売上減少等が重なった結果、街の書店では廃業が相次ぎ、本年5月時点の統計で全国の無書店自治体は28.6%に達しています。

このたび、本年5月1日付けで割引販売の根拠となっていた再販契約書ヒナ型の当該条項が削除され(別紙参照)、出版物の販売は定価販売を遵守するよう改定されましたのでお知らせいたします。貴自治体におかれましては事情をご賢察のうえ、図書調達の予算化に当たっては定価購入にご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

この件に関する問合せ:日本書店商業組合連合会 TEL03(3294)0388

# 日本書店商業連合会から全国の自治体へ発信②

2025年8月吉日

市区町村長 各位

出版再販研究委員会  
(構成団体：日本書籍出版協会  
日本雑誌協会  
日本出版取次協会  
日本書店商業組合連合会)

## 再販売価格維持契約書ヒナ型一部改定について

出版再販研究委員会（日本書籍出版協会、日本雑誌協会、日本出版取次協会、日本書店商業組合連合会で構成）は、2025年5月1日、『再販売価格維持契約書（取次一小売）』ヒナ型、ならびに『再販売価格維持契約書（出版一小売）』ヒナ型の二つにつき、内容を一部改定いたしました。

改定前は、それぞれ第六条(2)において、「官公庁等の入札に応じて納入する場合」については、この契約の規定は適用しないとしていましたが、今回一部改定により、「(2)官公庁等の入札に応じて納入する場合」の記述を削除いたしました。（※「官公庁等」は、図書館を含みます。）

これにより、再販売価格維持契約書ヒナ型においては、「官公庁等の入札に応じて納入する場合」も再販（定価販売）が適用されることとなりました。

つきましては、新規の契約や、契約の更新にあたっては、上記ヒナ型一部改定に留意されますよう、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、出版再販研究委員会では、上記ヒナ型一部改定にあたり、事前に公正取引委員会に対して説明・確認を行っております。

# 書店の現況 独自アンケート結果 ①

(組合加盟書店21件回答)

1	創業年						
	西暦：	1873年~1990年=9	1920=4、	1950=4、	1980=4		
2	経営者年齢						
		80×3、	70×7、	60×6、	50×2、	40×3	
3	従業員数 (ご家族、パート・アルバイト等も含め)						
		1人~48人	一桁×15 (71%)				
4	後継者						
		あり=7 (33%)	なし=8 (38%)	未定=6 (28%)			
5	売上比率			7:3=4			
	店売：外商=			1:9=4			
				10:0=1			

# 書店の現況 独自アンケート結果 ②

6	利用レジ 手打ちレジ=13 (62%)	POSレジ=8 (38%)
7	教科書販売 あり=13 (65%)	なし=8 (%)
8	公共図書館への直接納入 あり=17 (81%) 値引きは、0~10%	なし=4 (19%)
10	「書店在庫情報システム」(図書館蔵書検索と地元書店在庫の連携システム) 知ってる=12 (57%)	知らない=9 (43%)